

商店建築

11

2011 Vol.56 No.11

SHOTENKENCHIKU

平成23年11月1日発行 毎月1回発行
昭和31年9月12日 第3種郵便物認可
第56巻第11号 通巻707号

ザ ランドマークスクエア トーキョー／ヘアサロン＋ディテール集／トイレ＆パウダールーム



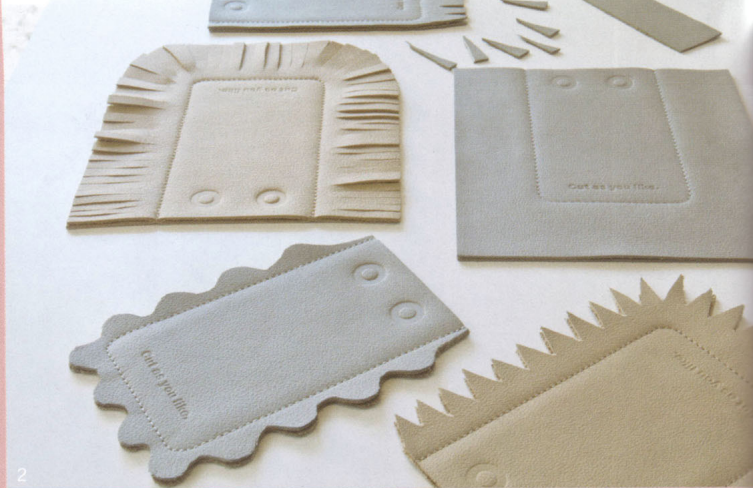
Hair Salon

THE LANDMARK SQUARE TOKYO
YOKOHAMA TRIENNALE 2011

monthly magazine of store design, interior, commercial architecture



1



2



3



4

1.五十嵐久枝氏によるiPhone/iPadスタンド「bocchiri」 2.デザインレーベル seto による、海の生き物、ウミウシをモチーフにした iPhone ケース「Umiushi」。フリンジを自由にカットしてデザインできる 3.トラフ建築設計事務所による「木のポケット」(左)と藤森泰司氏による「Ripple」(右) 4.トネリコによる「Calm trees」と「Calm trees Pen」

NEWS

“当たり前のものづくり”を目指すプロジェクト

「少しいいこと + プロダクト sample」展

企画／サカイデザインアソシエーツ
会場／Raum 1F (東京・表参道)
会期／2011年9月27日～29日
撮影／藤本一貴

デザイナー・酒井俊彦氏が主宰するサカイデザインアソシエーツによる自主企画プロジェクト「sample」。9月末、プロダクト、インテリア、ファッションなどの12組のデザイナーが手掛けたプロジェクト第1弾製品として、iPhone、iPad用のスタンドやケース18点が公開された。用いられる素材は「自動車用シートレザー」と「大きな除伐材」。シートレザーは一般的な革に比べ機能性や耐

久性に優れるものの、モデルチェンジや仕様変更により使用されなくなった後は大量に廃棄されることが多いという。「デザインの仕事に携わり、各地の工場や職人とかかわる中で、それぞれの産業やものづくりの仕組みが抱える問題を目にすることがあります。例えば除伐材。通常は集成材用として安く買い取られているものですが、それでは林業従事者の儲けにならない。今回は集成材

用の買い取り価格よりも少し高めの価格で、高知のまな板工房から調達しています。少し手間は掛かりますが、コストと時間の切り詰めありきのものづくりでは見落とされがちな、産地やデザイナーの立場も考えた、地に足の着いた当たり前のものづくりをしていきたい」と話す酒井氏。同氏は企画から素材調達や製造時のコスト構築なども担当している。「プロ

ジェクトの第2弾はまだ未定ですが、単なる啓蒙に終わらないよう、ビジネスとしてきちんと成立する程度のスケールで、産地やデザイナー、そして消費者にとって“少しいいこと”を、プロジェクトを通じて提供していきたいと考えています」(酒井氏)。製品は既にオフィシャルサイトで販売開始されており、また、11月のIFFT/インテリアライフ スタイル リビングでの出展も予定している。



展示会場。参加デザイナーは上記のほか、尾原史和氏、黒河内真依子氏、501 DESIGN STUDIO、ひびのこずえ氏、桐本隆士氏、南雲勝志氏、そして発起人の酒井俊彦氏の計12組